

第 6 期広域計画の策定に向けた論点等について

関西広域連合設立から 10 年余りの社会情勢の変化を踏まえ、広域連合が今後目指すべき姿や役割については、広域連合議会における議論のみならず、広域計画等推進委員会や関西経済連合会などの経済団体からも、多くの提言が寄せられている。そこで、第 6 期広域計画策定に向けた第 1 回会議となる今回は、今後の関西広域連合のバージョンアップを念頭に置きながら、以下の論点等を踏まえつつ、自由討議を行う。

＜論点＞ 第 6 期広域計画のあり方・基本的な枠組みについて

- (1) 関西圏の人口推計を踏まえ、中長期的な課題や未来志向を広域計画にどのように盛り込むか。
- (2) 従前の広域計画をどのように評価し、次期広域計画にどのように反映させるか。
- (3) 上位計画である広域計画と各分野計画について、どのように整合性を持たせ、連携させていくか。
- (4) 国・府県・市町村という異なる主体に対して、広域連合の果たすべき役割は何か。
- (5) 「ポスト万博」や「デジタル化」など、今後の主要テーマや社会的課題に対し、広域連合の果たすべき役割は何か。